

人間力とは何か——3・11を超えて

はじめに

あの「3・11東日本大震災」から早や5年の歳月が過ぎました。いまだ復興の途上にあります。そうしたときに、熊本地震が起き、多くの人が甚大な被害を受けました。心からお見舞い申し上げます。

多発する自然災害は、日本人の生き方、とりわけその死生観に強い影響を与えてきたことは多くの識者が指摘するところであります。私たちも、「3・11東日本大震災」を経験して、そのことを深く実感せざるを得ませんでした。そして同時に、かつてない大きな試練に直面して、改めて思ったことは、学生諸君にいかなる困難にも負けない「人間力」を身につけてほしいということでした。

私たちの大学である東日本国際大学・いわき短期大学は、儒学を建学の精神としておりま

す。小規模な大学ながら、東洋思想研究所と儒学文化研究所を擁し、建学の精神を体现すべく、さまざまな試みを重ねてきました。その一つが、一昨年にスタートした「人間力育成講座」です。これは、「3・11」の体験を踏まえ、各界で活躍する第一人者をお招きして、講演をしていただくものです。同講座には一般市民も参加し、共感の輪を地域に広げるとともに、学生を啓発し、未来への指標を与える貴重な機会として定着しております。本書には、こうした講演の中から6編を選び、収録しました。

一方、本学にとって最重要の行事となる「孔子祭」があります。これは、平成元年（1989年）に、大学の構内に孔子を祀る大成殿が完成したことを記念して、毎年、行われるようになったもので、本年度第28回を数えるに至っています。「孔子祭」では、これまで国内外から多数の有識者を招き、記念講演やシンポジウム等を意欲的に開催するなど、国際的な学术交流のネットワークを着実に広げる原動力となってきました。本書には、これまでの記念講演の中から、特に震災後に発表された3編の講演を収録しました。

これら全9編の講演はいずれも、深く濃密な内容を含みながら、平易な言葉で語られており、一つ一つに説得力があります。多くの人にぜひ聞いていただきたいと思うような講演でした。それだけに、こうして本書を発刊できたことは嬉しい限りです。少しでも多くの人が

本書を手に取り、人生への指針となるエッセンスを汲み取っていただければ幸いです。

2016年6月

学校法人昌平覺理事長 緑川 浩司

人間力とは何か——3・11を超えて 目次

公共哲学とWA	山脇直司	9
時代を読む——日本人は現代という時代をどう生きるべきか	森田 実	35
人間力を育てる脳の使い方	中野信子	51
無常とあはれについて	玄侑宗久	93
儒学思想の生き方	孔 垂長	127
伊藤仁斎の〈私〉さがし	小島康敬	139
脳科学入門——人間力を育むために	中野信子	155
共に生きる力	片岡 龍	189
勝者の思考法	二宮清純	223

公共哲学とW A

山脇直司

◎山脇直司（やまわき・なおし）

1949年生まれ。ドイツ・ミュンヘン大学で哲学博士号を取得。東京大学大学院総合文化研究科教授を経て同大学名誉教授に就任。現在、通信制大学の星槎大学副学長。

主な著書に『グローバル公共哲学』（東京大学出版会）、『公共哲学とは何か』（ちくま新書）、『社会とどうかわるか』（岩波ジュニア新書）、『公共哲学からの応答 3・11の衝撃の後で』（筑摩選書）などがある。

今日の講演の題は「公共哲学とWA」となっておりますが、この「WA」は、平和の「和」、連帯の意味の「輪」の二つの意味を兼ねており、また英語の「WAR」との対比も含意しております。本日は、そうした様々な「WA」の意味合いの違いについて念頭に置きながらお話ししたいと思います。前半では公共哲学とは一体どのような学問であるのかについて、さらに、孟子について——というのも、今日は孔子祭ですが、孟子の哲学というのは公共哲学の原点にして今日的な意味も持っておりますので——お話しし、後半は「WA」としての「和」の本質的な意味について考えてみたいと思います。

公共哲学について

では、最初に「公共哲学」とはどのような学問であるのか、分かりやすいように黒板を使いながら、進めていきたいと思います。「善い公正な社会を追究しながら、現下で起こっている深刻な公共的問題と取り組む学問」が、公共哲学の定義です。黒板に「善い社会?」「公正な社会?」と書きました。時間があれば、皆さんの一人一人に、どのような社会が善い社会なのか、また、どのような社会が公正な社会なのか、質問してみたいところですが、今日

は時間がありません。しかし、どのような社会が「公正な社会」か、「善い社会」かを問いか、自分自身で考えてみるところから公共哲学は始まります。

たとえば「善い社会」というのは「皆が幸福になれる社会」あるいは「皆が幸福になれるような条件が整った社会」である、という考え方があります。実際、古代ギリシャのアリストテレスは、「最高に善い社会」とは「皆が幸福になれる社会」であると考えました。しかもそれは、単に「最大多数の最大幸福」といった功利主義的な考え方とは違って、一人一人が個性をもって自分を伸ばしていく社会、皆がそれぞれ相互に触発されながら幸福になっていく社会、自分だけではなく他の人にも幸福になってほしいと願う社会というものでした。この社会をアリストテレスは「コイノニア」と名付けます。このコイノニアでは、画一的な幸福があるのではなく、一人一人が個性を伸ばしながら自己実現できる社会です。たとえば、スポーツが得意な人はそれを伸ばし、職人芸が得意であればそれを伸ばす。そのようにそれぞれの個性に合った自己実現を可能にするような社会、それが最も善い社会「コイノニア」だと考えたわけです。

では「公正な社会」とは何でしょうか。これは、誰も差別を受けないで公正に扱われる、そして個性を持ちながら自己実現をしていける社会です。皆さんは、これまでに不公正や差

別をされるといふ経験をしてきたかもしれません。そうした時に「なぜ？」と非常に不愉快に思われたことも多いことでしょう。あるいは、スポーツの場合「フェア」ということがとても大切ですね。そして社会においても、やはりこの「フェア」という精神が大切になってくるわけです。つまり「公正な社会」ということは「フェアな社会」ということですね。ですから、「公正な社会とは何か」を皆さん方が最初に学ぶのは、たとえばスポーツにおいても、かもしれません。公共哲学というのはスポーツをしながら学べる哲学だともいえるわけです。スポーツでは審判が公正なジャッジを下さなければなりません。野球でもそうですし、サッカーでもそうですよね。フェアに試合をしなければいけません。サッカーであれば、アンフェアな行為をすればイエローカードを突きつけられますし、レッドカードで退場になります。このような形で、みんなが幸福になれるような善い社会とはどんな社会だろうか、そして誰もがルールに従うような公正な社会とは何だろうか、と考えるのが公共哲学であるわけです。しかし、ただ単に考えただけでは駄目なのです。公共哲学には、もう一つ大切な要件が加わります。それは「現在起こっているような深刻な公共的問題と取り組む」ということです。つまり実践をする、ということですね。皆さんも身近で感じられていると思うのですが、東日本大震災で、多くの方々々が津波で亡くなられる、福島であれば放射能の問題に苦しめられ

ている、といった状況があるわけです。そういった公共的な問題をどのように解決するか、その時に、政策的、政治的な問題と実際的に取り組んでいくことが必要になるわけです。つまり、一方で善い公正な社会を目指しながら、他方で現実^ニに起こっているような大きな問題と取り組む、そうした学問が公共哲学だと理解してください。

ところで、皆さんの中で、マイケル・サンデル教授の『これからの正義の話をしよう』等のシリーズをテレビで見たことのある方は手を挙げていただけますか？ はい、少ないですが、名になりました。ちなみに、有名になる前のサンデルは私も良く知っていますが、テレビの有名人になるというのは、私自身はあまり好ましいと思わないので、最近^ニは交流していません。それはともかくとして、サンデルさんは公共哲学の第一人者で、先ほどの傅^フ先生の講演（君子は預言者かそれとも師儒か）で名前の出ておりましたテオドア・ド・バリーや、サンデルの先生であるチャールズ・テイラーといった学者たちと、十二年前にハーヴァードで議論して以来の知り合いです。

さて、ここまでは公共哲学全般についての話でした。ここからは、特に儒教の公共哲学、とりわけ孟子の公共哲学についてお話ししていきたいと思えます。

儒学思想の生き方

孔垂長

◎孔 垂長（こう・すいちょう）(Kung, Chui-chang)

1975年台湾台北市生まれ。孔子の79代目嫡孫。オーストラリアに留学後、ビジネスマンに。2009年中華民国大成至聖先師奉祀官に。同年、歴代最年少で總統府の国策顧問に就任。山東大学、東日本国際大学名誉教授。

中国文化の精髓としての儒学思想

中国の儒学思想は、わずかに一つの学説・理念であるだけでなく、一個の文化でもありません。儒学思想は、中国の二千五百年余りの文化的発展を主導してきたもので、中国の倫理思想の核心でもあります。それとともに、個人の日常生活の様々な場面において、実際に広く用いられてきたものでもあったのです。

祖先の孔子の儒学思想の最大の特徴は、まさしく「人を本と為す（人を根本とする）」という人文精神に基づくもので、人類の基本的な道徳的要求を表現したものです。それは強制的な思想ではなく、人類の社会道徳的な生活から抽出されたもので、自身の内在的な欲求に対する、自発的な思想・観念です。したがって、儒学思想は、「水至りて渠成る（時期が来れば自然に物事が成就する）」というように、直接的に日常生活の内で応用・実践することができのです。これこそが調和のとれた「生き方」であるのです。

儒学思想の生き方においては、まず、人の現実的価値を是認し、人の存在意義を提唱しています。その思想では、人生が現実世界に存在する意義を肯定し、天・地・人の三者の中で

は、人が中心で、最も重要な位置にあると認めているのです。

その次に、儒学思想の生き方では、さらに現在の人権思想の観念も表明し、「他人の生命」と「人へのまごころ」を尊重することを提唱しています。これこそが、まさしく「仁者が人を愛する」思想です。この「仁者が人を愛する」ことは、人々の基本的権利について、承認と肯定の意味が含まれています。

「仁」とは、儒学思想の核心と基礎であり、いわゆる「仁が至る場所には、義も当然存在する」ということばの通りであります。中国の古代では、「仁」の字は、「人が二本の足で道を歩き、そのそばに二を加える」ように書きました。「二人」とは、ふたりの人であり、まさしく、人と人の間、社会を表しています。つまり、人自身が仁であることが「根本」で、人の間にあるものが、「相互」に「作用」しあっているというわけです。孔子が述べた「吾が道は一以て之を貫く（私の理想は一つの道理によって貫かれている）」とは、別の言い方を使って、仁の本体とその作用が一貫していることを述べたものなのです。

孔子の思想体系の最も重要な要素は、「仁」です。仁者が人を愛するとは、「自分自身が生きてほしくないことを、人にしてはいけない」ことで、「敬天愛人（天を敬い人を愛すること）」であったことができます。

祖先の孔子は『論語』の中で、二回「自分自身がしてほしくないことを、人にしてはいけない」という観念を提起しています。個人の行為を国家と連動させることについて、孔子は「他人に損害を与えて自身に利益を与え」「他人の危機に乘じ」「他人を騙しだま損害を与える」行為として極力反対しています。したがって、儒学思想では、「己の心で推し量って人に及ぼす」ことを非常に強調し、ただ、こうするだけで、ついには、調和のとれた円満な人間関係と世界平和に到達することができるとみなしているのです。

そして、「仁者が人を愛する」ことについては、「五倫」と「十義」を必要な方法とみなしています。それらは、小から大まで、家庭から社会や国家にまで、等しく実践されていました。いわゆる「五倫」とは、つまり「父子、親あり」「君臣、義あり」「夫妻、別あり」「長幼、序あり」「朋友、信あり」ということを指しています。

また「十義」とは、まさしく「君は仁」「臣は忠」「父は慈」「子は孝」「兄は友」「弟は恭」「夫は義」「婦は順」「朋は実」「友は信」を指しているのです。

例を挙げて説明すると、儒学の文化では、「孝」の観念を非常に重視しています。孔子の言葉に、「弟子のみなさん、家では孝に基づいて父母に尽くしなさい。外では、年長者によく仕えるように。何事もおろそかにせず、人から信用されるようにしなさい。区別なく、す

べての人々を愛し、人格者と親しく付き合うように。それだけのことをした後には、余力があったならば、そこで学問に励みなさい」とあるのはこのことを説明しているのです。中国の家庭では、ずっと「父の慈」と「子の孝」を手本としていますが、今日まで、「百の善行の第一は孝である」という観念は、なお依然として、深く私たちに影響しています。これは中国の文化の精髓となっただけではなく、さらに中国から世界各地に広まっているものであり、中国の近隣の国家に対する影響は、さらに深遠なものとなっています。韓国と日本の社会は、まさしく儒学の文化の薫陶を深く受けているのです。

良好な人間関係を維持するための道徳的準則

儒学の生き方には、すなわち人倫関係の規範を、家庭から社会と国家にまで及ぼすという別の特徴があります。すべての人が、良好な人間関係を維持するために守らなければならぬ、基本的な道徳的準則が定められています。ですから孔子は、「家では孝に基づいて父母に尽くしなさい。外では年長者によく仕えるように。何事もおろそかにせず、人から信用されるようにしなさい。区別なく、すべての人々を愛さなければなりません」と強調している

人間力とは何か——3・11 を超えて

2016年6月30日 初版第1刷発行

編者 東日本国際大学東洋思想研究所

発行所 昌平鬘出版会

〒970-8023 福島県いわき市平鎌田字寿金沢37

tel. 0246 (21) 1662 fax. 0246 (41) 7006

発売所 論創社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23 北井ビル

tel. 03 (3264) 5254 fax. 03 (3264) 5232 web. <http://www.ronso.co.jp/>

振替口座 00160-1-155266

印刷・製本／中央精版印刷 装幀／宗利淳一＋田中奈緒子

ISBN978-4-8460-1541-1 ©2016 SHOUHEIKOU Shuppankai, printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り換えいたします。